

出資金ふやし頑張ろう!

あかるいまち21

No.993号 2017年3月9日 組織部 TEL082-532-1264

	3月累計	4月～2月
組合員ふやし	27人	1,230人
出資金ふやし	236万円	1億1,804万円
純増	41万円	1,950万円

子ども食堂「きんちゃいごはん」

理事会社保委員会では奥村理事、難波委員、門田委員(職員)、事務局の大田(組織部)の4人で2月27日に子ども食堂「きんちゃいごはん」の中心メンバーの赤木悠起(ゆき)さんにお話をお聞きしました。



「きんちゃいごはん」は、昨年末から広島市中区十日市で始められた比較的新しい子ども食堂です。赤木さんは、子どもをめぐる環境についてずっと問題意識を持っておられ、仲間の方々と共有され子ども食堂の話をしておられたそうです。そこに、広布山本覚寺(中区十日市)さんによる場所提供の呼びかけ情報があり、具体化されたとのことでした。

この食堂は、子どもたちが集まる学校でもない家でもない第三の居場所にしたいと思っているとのことでした。子どもたちは、本川小学校の児童が中心で、イクちゃんネット(ひろしまこども夢財団が運営する広島県の子育てポータルサイト)を見ての参加もあるようです。開催日は月一回の土曜日(不定期)で、1歳から中学生までの参加があり、原則30名定員の予約制です。

実行委員会方式で運営し、委員は社会貢献ややりがい共感して集まって来られた方々です。無理をしないで長く続けられるようにと、実際に集合するのは当日だけです、普段はSNSで連絡を取り合っているそうです。楽しくおいしいをモットーに、簡単な読み聞かせや手遊びを行っています。また、料理にはとてもこだわって、料理リーダーが季節を意識した食材に手をかけて作り、カレーやシチューという大勢で食べられるものは作っていないとのこと。子どもが喜んでくれ、笑顔がみられるのが魅力だそうです。光熱費・食器は本覚寺さんが提供され、残りは参加費(小学生100円、中学生200円、高校生以上300円)で賄っているそうです。

社協 居場所づくり実践交流会

3月5日に広島市社会福祉協議会主催で「居場所づくり実践交流会」が開催され、「きんちゃいごはん」の赤木さんも発言されていました。全体で250人の集まりで、中央保健からも組合員と職員で6名が参加しました。



協同組合がよりよい社会を築きます



広島中央保健生活協同組合